

2013年度(2014年3月期) 第3四半期決算説明会



2014年1月30日

大正製薬ホールディングス株式会社

執行役員 齊藤 隆



2013年度第3四半期決算：概要

(億円)

	2012年度 3Q累計	2013年度 3Q累計	前年同期比 増減	
売上高	2,203	2,279	+77	+3.5%
セルフメディケーション	1,330	1,400	+70	+5.3%
医薬	873	880	+7	+0.8%
営業利益	308	365	+57	+18.4%
経常利益	379	438	+59	+15.5%
四半期純利益	218	278	+60	+27.4%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2013年度第3四半期の概況（1）

- セルフメディケーション事業（大正製薬 国内）
 - 10～12月はほぼ計画どおりの進捗
 - 主要ブランドの実績：
 - リポビタンシリーズ：前年比マイナスが縮小
 - パブロンシリーズ：風邪が流行らず市場低調
 - リアップシリーズ：X5が伸長
 - リビタシリーズ：計画線で推移

<ご参考：市場の状況>

- OTC医薬品市場
2013年度4～12月：前年同期比▲1.8%

（インテージSDIデータ、金額ベース）



2013年度第3四半期 主要ブランド売上高

(億円)

	2013年度 3Q累計	前年同期比 増減	
リポビタンシリーズ	542	▲1	▲0.2%
パブロンシリーズ	189	▲2	▲1.2%
リアップシリーズ	110	+2	+1.5%
リビタシリーズ	33	▲3	▲8.4%
胃腸薬シリーズ	33	▲1	▲1.9%
ナロンシリーズ	32	+0	+1.3%
コーラックシリーズ	27	▲1	▲4.2%

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2013年度第3四半期の概況 (2)

• 海外事業

主な内訳

(億円)

	2012年度 3Q累計	2013年度 3Q累計	前年同期比 増減	
海外事業全体	125	192	+66	+52.9%
SM海外事業	125	192	+66	+52.9%
海外ドリンク剤	53	67	+15	+28.1%
海外OTC医薬品	66	118	+52	+78.1%
BMS社からの買収分	41	47	+6	+15.7%
Hoe社	19	25	+6	+29.6%
CICSA社等4社	4	18	+15	+404.1%
大正オソサパ製薬	-	24	+24	-

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2013年度第3四半期の概況 (3)

• 医薬事業

– 大正富山医薬品:

- 売上高: 822億円 (前年同期比6.5%増)

– 感染症領域:

ゾシン: 適応追加も寄与し、引き続き好調

クラリス: 経口抗菌薬市場の縮小により減少

大正富山医薬品の抗菌薬市場*シェア: 21%

(*J01抗菌薬市場)

– 炎症・免疫領域:

エディロール: 骨粗鬆症治療薬市場への浸透

により好調に推移

<ご参考: 市場の状況>

– 医療用医薬品市場: 前年同期比+3.9%

- 当社の主力市場である抗菌薬市場は▲2.7%

(経口: ▲5.8%、注射: +1.3%)

(Copyright 2014 IMSヘルス、JPM 2012年4月-2013年12月をもとに作成、無断転載禁止)

大正富山医薬品：2013年度第3四半期 主要製品売上高



(億円)

		2012年度 3Q累計	2013年度 3Q累計	前年同期比 増減	
大正富山医薬品		772	822	+50	+6.5%
大正製薬製品		471	504	+33	+6.9%
	クラリス	139	126	▲13	▲9.5%
	エディロール	61	101	+40	+64.4%
	パルクス	67	63	▲4	▲6.6%
	ジェニナック	47	53	+5	+11.3%
富山化学製品		301	318	+17	+5.7%
	ゾシン	166	200	+35	+20.8%
	オゼックス	66	56	▲11	▲16.0%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2013年度3Q：売上高・利益の増減要因

(前年同期比増減額)

売上高 (+77億円)	セルフメディケーション事業 (+70億円)	医薬事業 (+7億円)
営業利益 (+57億円)	売上総利益* +61億円 (売上総利益率* 前年同期62.1% → 当期62.7%)	
	販管費 +5億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	▲12億円
	・広告宣伝費	▲1億円
	・販売促進費	+18億円
	・人件費	+5億円
営業外損益：持分法投資利益 18億円(前年同期比 +3億円)		

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2013年度：通期業績予想

(億円)

	2012年度 通期	2013年度 通期予	前期比増減		予想 修正額
売上高	2,852	2,945	+93	+3.3%	-
セルフメディケーション	1,713	1,804	+91	+5.3%	-
医薬	1,139	1,141	+2	+0.2%	-
営業利益	353	380	+27	+7.5%	-
経常利益	442	465	+23	+5.3%	-
当期純利益	263	300	+37	+14.0%	-
EPS(円)	325.26	369.96	-	-	-
(参考)					
大正富山医薬品売上高	1,002	1,072	+70	+6.9%	+7

予=予想

注:金額は億円未満四捨五入

増減は百万円単位で計算

2013年度：主要ブランド・製品売上高予想



(億円)

	2013年度 新予想	前期比増減		2013年度 従来予想	予想 修正額
リポビタンシリーズ	664	▲3	▲0.5%	664	-
パブロンシリーズ	263	+2	+0.9%	263	-
リアップシリーズ	141	+2	+1.4%	141	-
リビタシリーズ	43	▲5	▲10.5%	43	-
胃腸薬シリーズ	40	▲3	▲6.5%	40	-
ナロンシリーズ	41	▲0	▲1.0%	41	-
コーラックシリーズ	36	▲1	▲3.1%	36	-
ゾシン	253	+38	+17.9%	250	+3
クラリス	170	▲20	▲10.4%	175	▲5
エディロール	130	+42	+48.5%	125	+5
パルクス	80	▲5	▲6.2%	80	-
オゼックス	70	▲12	▲14.7%	73	▲3
ジェニナック	70	+9	+15.0%	70	-

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2013年度通期：海外事業

- 2Q発表時(2013年10月31日)からの修正:なし

主な内訳

(億円)

	2012年度 通期	2013年度 通期予想	前年同期比 増減	
海外事業全体	176	262	+86	+49.2%
SM海外事業	176	262	+86	+49.2%
海外ドリンク剤	71	96	+25	+36.2%
海外OTC医薬品	96	158	+62	+65.3%
BMS社からの買収分	56	62	+6	+10.2%
Hoe社	27	38	+11	+44.3%
CICSA社等4社	7	22	+15	+218.9%
大正オソサパ製薬	3	31	+28	-

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2013年度予想：売上高・利益の増減要因

(前期比増減額)

売上高 (+93億円)	セルフメディケーション事業 (+91億円)	医薬事業 (+2億円)
営業利益 (+27億円)	売上総利益* +67億円 (売上総利益率* 前年同期61.8%→当期62.1%)	
	販管費 +40億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	▲9億円
	・販売促進費	+32億円
	・広告宣伝費	+5億円
	・人件費	+10億円
営業外損益:持分法投資利益 19億円		

*返品調整引当金繰入・戻入調整後
金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



セルフメディケーション事業：新製品

<2013年度の主な新製品（予定）>

<上期>

リポビタミンフィール

エパデールT

ジクロテクトPRO

ヴィックス メディケイテッド

ドロップ ブルーミント

など

<下期>

ゼナFOーファースト

コパトーン(リニューアル)

皮膚病関連

など

赤文字：発表・発売済みの製品



医療用医薬品：新薬パイプライン(1)

TT-063: フェーズ3において変形性関節症に対する有効性を確認
(2014年1月16日発表)

大正製薬開発品: 国内

(2014年1月30日現在)

	特長他 予定適応症	開発形態	オリジン
申請中			
TS-071* (経口)	<u>SGLT2阻害作用</u> 2型糖尿病	自社	大正製薬
フェーズ3			
CT-064** (経口)	<u>ビスホスホネート系骨吸収抑制剤</u> 骨粗鬆症	中外製薬共同	ロシュ
TT-063 (外用)	<u>エスフルルビプロフェン含有消炎鎮痛貼付剤</u> 変形性関節症等	トクホン共同	トクホン

*TS-071

一般名: ルセオグリフロジン水和物

** CT-064

一般名: イバンドロン酸ナトリウム水和物、中外製薬における開発コードはRG484



医療用医薬品：新薬パイプライン(2)

大正製薬開発品(続き)

(2014年1月30日現在)

	特長他 予定適応症等	開発形態	オリジン
フェーズ2(国内)			
NT-702 (経口)	<u>気管支拡張作用、細胞浸潤抑制作用</u> 気管支喘息	日産化学共同	日産化学
NT-702 (経口)	<u>血管拡張作用、血小板凝集抑制作用</u> 閉塞性動脈硬化症に伴う間歇性跛行	日産化学共同	日産化学
パルクス (注射)	<u>プロスタグランジンE1製剤</u> 腰部脊柱管狭窄症に伴う間歇性跛行 (適応追加)	自社	大正製薬/ 田辺三菱製薬
フェーズ1			
	対象疾患	自社／導入	国内／海外
TS-091	睡眠障害	自社	国内
TS-071	2型糖尿病	自社	海外
TS-111	うつ病	自社	海外

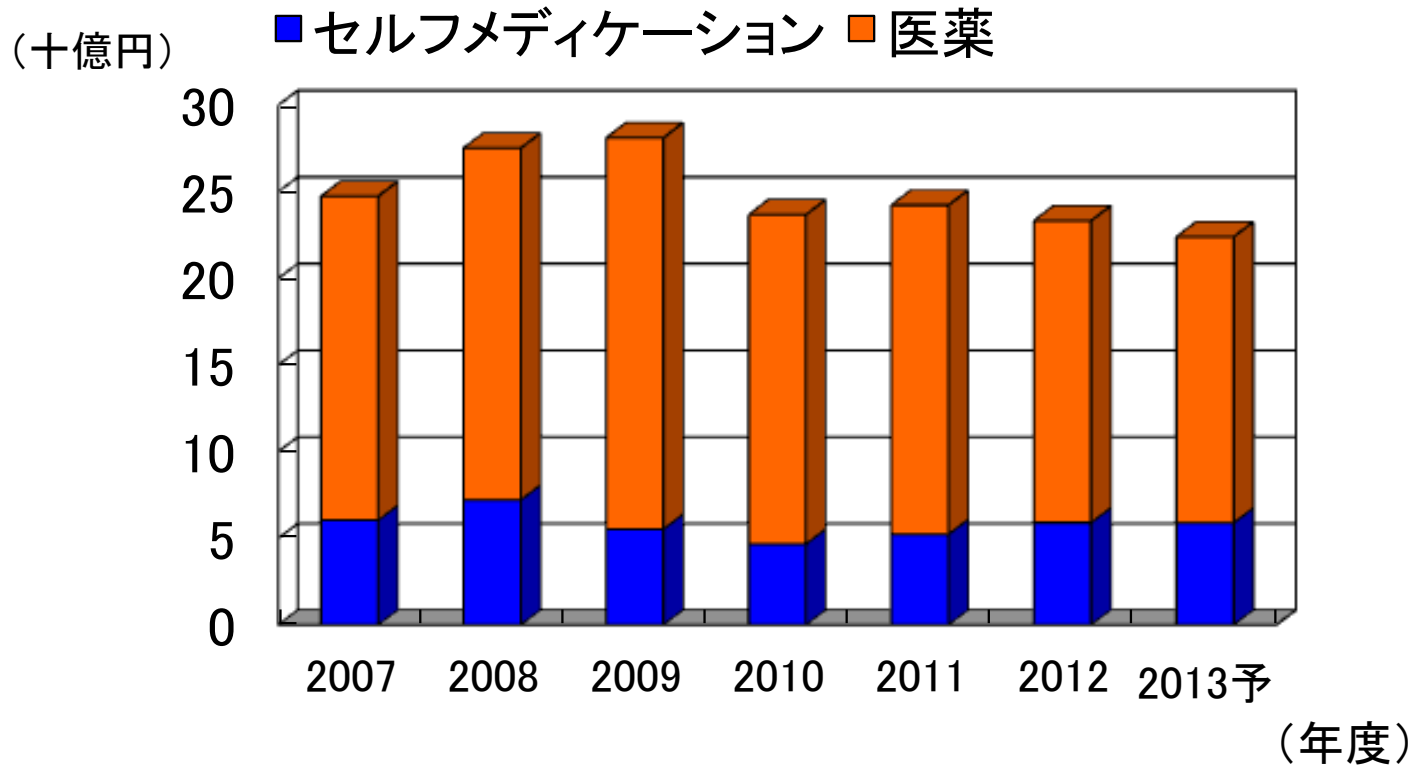


研究開発費の動向

2013年度3Q実績：155億円（前年同期比▲12億円）

2013年度通期予想：224億円（同▲9億円）

2Q発表時（2013年10月31日）からの修正：なし



參考資料



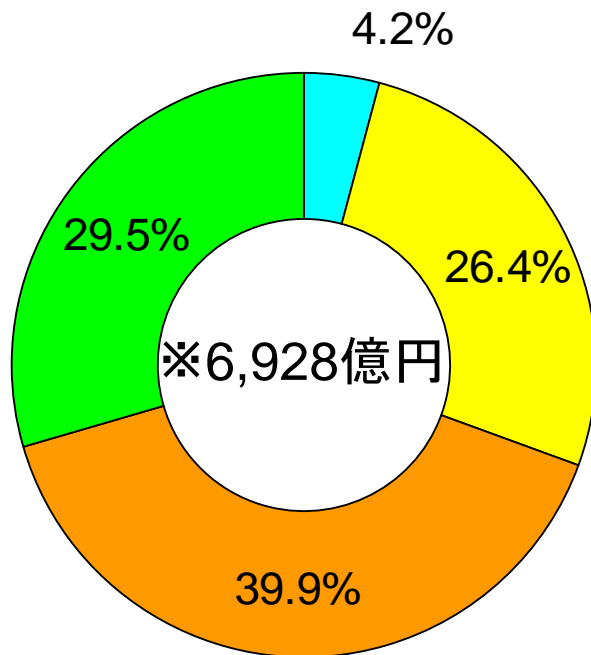
OTC医薬品分類別構成比

国内OTC医薬品市場における構成比 ※ 分類不明分は除く

(2012年4-12月)

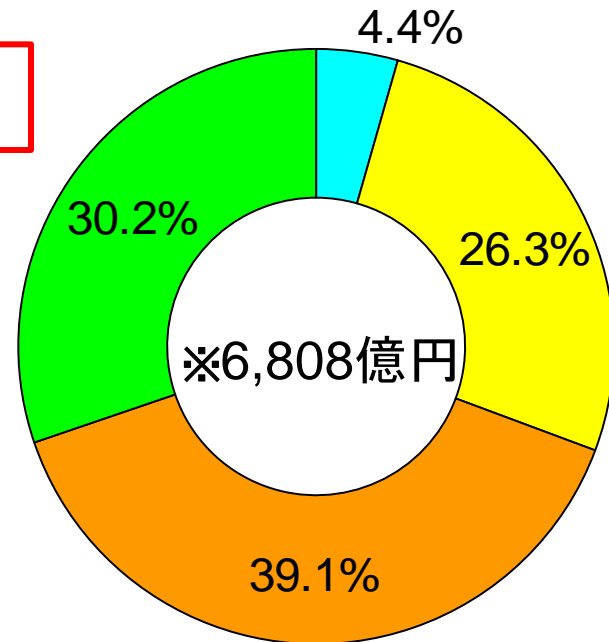
(2013年4-12月)

第1類の
前年比
104%



部外品を除く

前年比
98%



第1類
指定第2類
第2類
第3類

(インテージSDIデータ、金額ベース、各年4-12月累計)



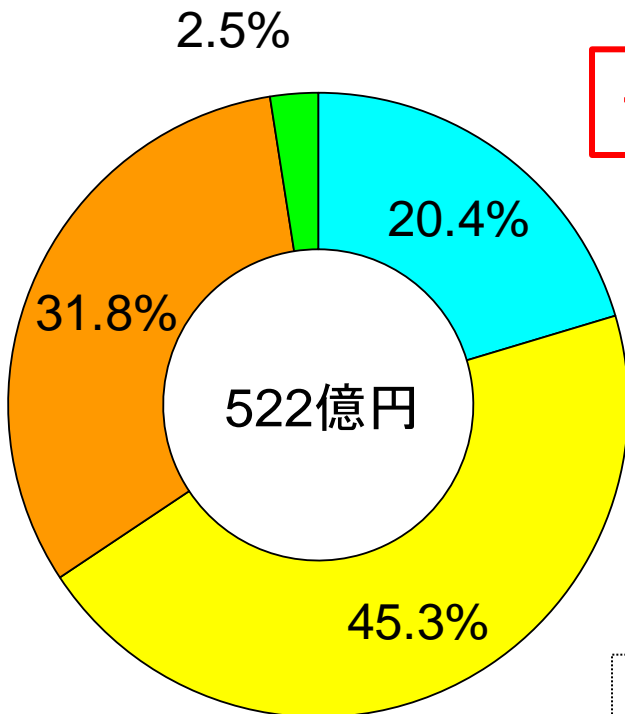
当社のOTC医薬品分類別売上構成比

2012年4-12月

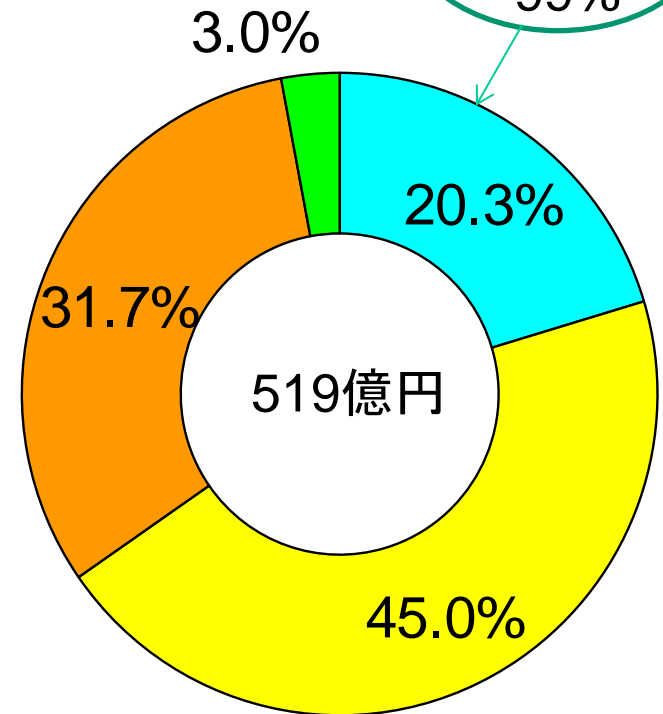
2013年4-12月

第1類の
前年比
99%

部外品を除く



前年比
99%



- 第1類
- 指定第2類
- 第2類
- 第3類